



これまでの議論の経過

士別市立病院は、昭和62年に建設されてから37年が経過し、経年劣化による老朽化が進んでいます。また、高齢化や人口減少などにより医療需要も大きく変化してきていることから、令和7年度中に士別市立病院の再整備基本方針を策定することとしました。

「士別市立病院のあり方検討市民委員会」から病院の将来に向けたあり方について答申をいただき、議会議員で構成する「士別市立病院のあり方検討特別委員会」における議論の結果、病院を取り巻く経営環境は大変厳しいうえ、再整備の費用が建築費等の高騰から、検討したいずれの手法においても多額となることが見込まれ、健全経営の実現には課題が残る状況となりました。

病院再整備の基本的な考え方

国において医療介護の厳しい現状は認識されており、新政権のもと医療機関で活用可能な補助金などの支援策や、人件費・物価高騰を踏まえた診療報酬改定の方針が徐々に示されてきている状況にあります。

これらの状況からも、今年度中の病院再整備方針策定を先送りし、再整備に係るコストをさらに縮減する方策等について病院建物の現況調査を行い、改修の手法などの検討を進め、そのうえで今後の建築費の変動や診療報酬改定の内容、国による病院経営への支援策、経営改善の効果などを総合的に勘案し、令和9年度に向けて再整備方針を決定することとする「士別市立病院再整備の基本的な考え方」としたところです。

基本的な考え方の詳細は
病院ホームページから
ご覧ください。



問い合わせ先
士別市立病院総務課
TEL 0165-23-2166
FAX 0165-22-1827